



**第4回  
ひょうごユースecoフォーラム  
開催報告書**

# <目次>

	(頁)
I 第4回ひょうごユースecoフォーラム 概要 .....	1
II 開催結果	
1 オープニング .....	2
2 口頭発表	
(1) 口頭発表一覧 .....	2
(2) 口頭発表内容の紹介 .....	3
3 ポスター展示	
(1) ポスター展示一覧 .....	5
(2) ポスター展示内容の紹介 .....	6
4 グループディスカッション	
(1) 概要 .....	20
(2) ディスカッション結果 .....	21
(3) 講評 .....	26
5 クロージング .....	26
III 学生企画委員の紹介	
1 学生企画委員一覧 .....	27
2 学生企画委員感想 .....	28

## I 第4回ひょうごユースecoフォーラム概要

### 1 目的

若者世代による環境活動の活性化を通して将来社会の担い手を育成するため、高校生・大学生の10名の学生企画委員の企画・運営等への参画のもと「第4回ひょうごユースecoフォーラム」を開催した。

本フォーラムが、ご参加いただいた皆さまの活動活性化に寄与するとともに、将来世代に“恵み豊かなふるさとひょうご”をつないでいく契機となることを期待する。

### 2 内容

(1) 日時 令和5年1月14日(土)13:00～16:30

(2) 場所 デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)

(3) テーマ 楽しく脱炭素社会 ～自分達ができることを考えよう～

(4) 参加者 169名

(5) スケジュール

(12:30～13:00)(ポスター展示観覧)

13:00～13:10 オープニング

・あいさつ(中瀬 勲

兵庫県立人と自然の博物館 館長／兵庫県立淡路景観園芸学校 学長)

13:10～14:00 口頭発表

14:00～15:00 ポスターセッション

15:00～16:25 グループディスカッション

16:25～16:30 クロージング

・あいさつ(菅 範昭 兵庫県環境部長)

### 3 主催等

主 催:兵庫県、公益財団法人ひょうご環境創造協会

協 力:兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県立淡路景観園芸学校

【総合コーディネーター】

中瀬 勲



兵庫県立人と自然の博物館 館長  
兵庫県立淡路景観園芸学校 学長

【グループディスカッションコーディネーター】

嶽山 洋志



兵庫県立大学大学院緑環境景観  
マネジメント研究科 准教授

## II 開催結果

### 1 オープニング

挨拶(中瀬 勲 兵庫県立人と自然の博物館 館長／兵庫県立淡路景観園芸学校 学長)

地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林保全など様々な分野で活躍する皆様が、分野や世代をこえて相互につながる場が本日のフォーラムである。

昨年度同様、規模を縮小しての開催となるが、開催に向けては10名の高校生・大学生が学生企画委員として、会議を重ね企画を練ってくれた。

今年は、企画立案だけではなく、口頭発表、ポスター発表の司会進行も学生企画委員が担っている。このような若者世代の活躍は、本当に楽しみで心強く、今後の活動に期待が高まる。



グループディスカッションでは、“楽しく脱炭素社会～自分達ができることを考えよう～”をテーマに、脱炭素社会実現のために、「楽しく、無理なく」私たちができることを参加者全員で語り合っていた。参加者の約半数(42団体中20団体)が中・高・大学生の若者である。活発な議論を繰り広げられることによって、先輩世代の知恵と経験が若者に引き継がれ、また、若者の斬新な意見が先輩世代の活動にインパクトを与える場になることを期待している。

本日の主役はこの会場にお越しの参加者の皆様。  
皆様のご協力で実りあるフォーラムになるよう、よろしくお願いします。

### 2 口頭発表

#### (1) 口頭発表一覧

環境活動に取り組む6団体の次世代の担い手たちが活動発表を行った。

1	認定こども園七松幼稚園	廃材や自然物を使った 持続可能な自発的、主体的なあそび
2	MIXES(みくしいず)	「地域のミライづくり」とは
3	GWC Thinkers (兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員)	GWC Thinkersのこれまでの活動
4	玉一アクアリウム	明石川と共に生きる ～兵庫県レッドリスト要調査種ヒナハゼ～
5	西宮市立山口中学校 モリアオガエル保存会	ビオトープが教えてくれた モリアオガエルの生態
6	Re.colab KOBE	リコラボってこんなところ！ ～学生とSDGs～

## (2) 口頭発表内容の紹介

- ① <発表団体> 認定こども園七松幼稚園  
<発表テーマ> 廃材や自然物を使った持続可能な自発的、主体的なあそび

本園では、ESDの一環で様々な廃材や自然物を使用した遊びを日常的に取り入れている。子ども達が自ら様々な素材を選んだり、自然と触れたりする中で、豊かな感性や創造力を育めるような関わり、環境作りに努めている。子ども達が素材や物の性質の違いに気付いたり、不思議に思って自分なりにひらめいたことや、考えたことを友達と共有しながら試すことが、豊かな感性を持ち創造的に取り組める子どもに育つと考えられる。



- ② <発表団体> MIxES(みくしいず)  
<発表テーマ> 「地域のミライづくり」とは



SDGsは世界中の人が望む未来。環境と人にやさしい暮らし方を実現するために、みんなが幸せになるために、地域で生まれ育つ高校生たちが、地域を出てしまう前に、地域の多様な人や現場に触れ、未来の共生社会をつくる力を育てている。いつか大好きな人たちの暮らす故郷に戻り貢献したい。

- ③ <発表団体> GWC Thinkers(兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員)  
<発表テーマ> GWC Thinkersのこれまでの活動

環境負荷の軽減を考えた製品づくりに取り組む企業の取材や環境問題に取り組む学生団体とのトークライブ(YouTube)など、GWC Thinkersのこれまでの活動内容について、リアルに感じたことや大学生ならではの視点で紹介した。



④ <発表団体> 玉ーアクアリウム

<発表テーマ> 明石川と共に生きる～兵庫県レッドリスト要調査種ヒナハゼ～

兵庫県要調査のヒナハゼが兵庫県の円山川や揖保川に続き、明石川でも生息が確認できた。幼魚～成魚が捕れて、捕獲数も年を経るごとに増えているので定着が予想されていたが、2022年の7月の調査では、口が大きくなったオスの成魚やお腹に卵を持った雌の成魚など、産卵期の特徴を持ったヒナハゼが明石川下流の同じ場所で複数捕れ、産卵して定着している可能性もわかった。これからも明石川と共に暖海性のヒナハゼを通して環境や生き物の変化を見ていきたい。



⑤ <発表団体> 西宮市立山口中学校モリアオガエル保存会

<発表テーマ> ビオトープが教えてくれたモリアオガエルの生態



飼育小屋「モリアオさん家」で保護増殖活動を始めて54年。今年は念願であったビオトープを造成して、かつて先輩方が行っていた野外飼育に挑戦し、30年ぶりの飼育活動を復活させた。ビオトープを作ったからできた事や、今まで誰も知らなかったモリアオガエルの生態や不思議を紹介した。

① <発表団体> Re.colab KOBE

<発表テーマ> リコラボってこんなところ！～学生とSDGs～

里山の再生では北区の山あいにある耕作放棄地の再生を目指す活動を展開している。クラフトビールの原料となる大麦を中心に、様々な野菜そしてワイン用のブドウも栽培している。これらの作物の栽培は、豊かな自然環境を守るため完全有機栽培である。

里海の再生では地球温暖化に向けた様々な対策が喫緊の課題である今日、温室効果ガスの新たな吸収源として注目されているのが「ブルーカーボン」である。リコラボでは、神戸市で取り組んでいるブルーカーボン事業の広報啓発活動を担当している。地域の再生では里山の再生活動を持続可能ものにするために、学生たちの拠点となる空き家を借り受け、その整備を進めている。再生した空き家を学生と地域の連携の拠点とすることで、様々なイベントを展開し、人口減少に苦しむ地域に関係人口を呼び込む契機として活用していく予定である。



## 4 ポスター展示

### (1) ポスター展示一覧

参加42団体の魅力あふれる環境活動をポスター展示にて紹介。

1	兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター	22	玉一アクアリウム
2	海と空の約束プロジェクト	23	徳島大学&尼崎運河〇〇クラブ
3	認定こども園七松幼稚園	24	兵庫県立尼崎小田高等学校 サイエンスリサーチ科
4	ひょうごエコロコプロジェクト	25	兵庫県立豊岡総合高等学校 インターアクトクラブ
5	ひょうご環境体験館	26	あびき湿原保存会
6	ひょうご高校生環境・未来リーダー 育成プロジェクト	27	NPO法人棚田LOVERS
7	NPO法人創エネ神戸	28	加古川の里山・ギフチョウ・ネット
8	株式会社日本海水 赤穂工場	29	甲南女子大学 シグマソサエティ部
9	NPO法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会	30	神戸大学保全生態学研究会
10	生活協同組合コープこうべ	31	神戸山手女子高等学校(仮)カメラ部
11	兵庫県立三田祥雲館高等学校 SS探究クレヨン班	32	篠山環境みらいの会
12	兵庫県立三木北高等学校 環境研究部	33	淳心学院 生物部
13	MIxES(みくしいず)	34	ダイハツ工業株式会社
14	温暖化防止こうべネット	35	西宮市立山口中学校モリアオガエル保存会
15	グループめだか	36	兵庫県立篠山東雲高等学校 自然科学部
16	GWC Thinkers (兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員)	37	兵庫県立森林大学校
17	地球環境と産業化研究会(SGEIS)	38	兵庫県立龍野高等学校 自然科学部/課題研究生物多様性班
18	ひょうご環境保全連絡会	39	兵庫県立農業高等学校 生物資源研究会
19	相生湾自然再生学習会議	40	兵庫県立北条高等学校 人間創造コース ECOチャレンジ班
20	一般社団法人いえしま自然体験協会	41	武庫川づくりと流域連携を進める会
21	株式会社カネカ	42	Re.colab KOBE

## (2) ポスター展示内容の紹介

### 1 兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター



私たちエコチル調査は、子どもたちの成長や健康に影響を与える化学物質と環境要因について研究を進めています。子どもたちが健やかに成長できる環境・安心して子育てができる環境の実現を目指しています。



### 2 海と空の約束プロジェクト



多様なセクターと協働し、判りやすい環境学習や防災学習を展開しています。紙芝居や自然体験学習などを工夫しています。学校園、河川や海岸の保全活動団体や大学学生団体ともコラボしています。



### 3 認定こども園七松幼稚園



本園は尼崎市にある0歳から5歳児の360名在籍する幼保連携型認定こども園です。本園では、ESD実践でSDGs等に関する活動をしています。2022年9月には、ユネスコスクール・キャンディデード校の認定を受けました。





## 4 ひょうごエコロコプロジェクト



県内全ての乳幼児が、一定の専門性をもつ指導者による環境体験を継続的に受けられる体制を構築するため、幼稚園等が実施する環境体験を支援するとともに、乳幼児期における環境体験の機会の増加を目指しています。



## 5 ひょうご環境体験館



ひょうご環境体験館は、こどもから大人まで多くの皆様が地球温暖化をはじめとする環境問題について「気づき」「学び」「知る」ことができる施設です。展示をリニューアルし、マスコット「ひょうごゴン」が誕生しました。ぜひお越しください。



## 6 ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト



地球温暖化の進行による異常気象や災害の頻発などの環境問題を多角的に捉え、その解決策を考え、実践できる資質を身につけた高校生を育成することを目的に「ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト」を展開しています。



## 7 NPO法人創エネ神戸



神戸市シルバーカレッジのOB、在校生からなるNPO法人です。地球温暖化防止のために①工作、紙芝居等を通じた環境教育・環境学習②再エネによる自家消費型発電の普及支援③再生エネの調査・普及活動を実施しています。



## 8 株式会社日本海水 赤穂工場



「人と海を技術でつなぎ、食と健康、そして人びとのよりよい生活に貢献します。」を企業理念に塩、環境、電力、食品の各事業に取り組んでいます。「日本海水の森」を開設し、森林保全の活動に取り組んでいます。



## 9 NPO法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会



「淡路島民の会」は、島内で活動する多くの産業・団体で構成されており、協議会と連携して、島内の高速道路SAでの宣伝や、島内で開催されるマラソンなど様々なイベントにおいて宣伝活動を行っています。また、3海峡クリーンアップ大作戦では事務局、実施団体として積極的に活動しています。



## 10 生活協同組合 コープ神戸



生協は、よりよいくらしと地域づくりをめざして、組合員といっしょにさまざまな活動をすすめています。環境保全のためフードドライブをはじめ、①くらしの見直し運動をすすめ、環境保全型社会への転換を推進②事業活動から発生する直接・間接の環境負荷の低減を推進しています。



## 11 兵庫県立三田祥雲館高等学校 SS探究クレヨン班



使えないと思っていたものを活用する楽しさを子どもから大人までみんなに知ってほしいと考え、伝える手段の一つとして、廃棄物(大根葉など)や外来植物(ブタナなど)を使ったクレヨン作りに取り組んでいます。



## 12 兵庫県立三木北高等学校



ケナフや希少染料植物を育て、それで古カーテンや地場産品を染めてウクライナ緊急募金の返礼品にし寄付を集める。須磨海岸の砂を使った環境講座「みんなでSDGs～内陸から海ゴミを考えよう」を開講している。



### 13 MIXES (みくしいず)



豊岡市の高校6校の有志20名以上で地域活動するサークルです。コンセプトは「地域のミライをつくる」。SDGsだけを意識するものではなく地域における幅広いボランティアと、環境啓発の企画などを独自に開催しています。



### 14 温暖化防止神戸ネット



温暖化防止こうベネットは、神戸市内で環境啓発活動を続けています。独自で作成したエコすごろくやエコ輪投げ、自然素材を使ったエコ工作、農業体験教室、公開研修会など多彩な活動をしています。



### 15 グループめだか



加古川市民団体連絡協議会に所属しています。夏休み親と子の環境教室や地域のイベントでエコ工作や環境学習を通して、子ども達と一緒に学び楽しみながら、地球温暖化防止の啓発活動を行なっています。コロナ禍2年目の緑のカーテンを広める活動にも挑戦しています。



## 16 GWC Thinkers(兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員)



地球温暖化防止活動について、取材訪問やイベント参加を通じて体験し、SNSを利用し発信している兵庫県の学生グループです。学生ならではの視点を取り入れることを意識して発信しています。



## 17 地球環境と産業化研究会(SGEIS)



地球環境問題に取り組み、将来を担う世代に夢と住み良い地球環境を！ 皆さん、自分の頭で考え自分の意見を持ち、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの輪を広げましょう。SGEISと共に学び考えませんか！

HP: <https://www.sgeis.org/>



## 18 ひょうご環境保全連絡会



本会は、県内事業者など約500の会員で構成された環境団体です。生活環境の保全に加え、温暖化防止、生物多様性及び資源循環など、環境の保全と創造を推進することで、豊かで美しいひょうごの実現を目指しています



## 19 相生湾自然再生学習会議



カブトガニがいたところの自然豊かな相生湾に蘇らせる取り組みを地元小学校・中学校・高等学校と連携して取り組んでいます。また子ども達を対象に相生湾の豊かさを体験する「チリモン学習」や磯の生物・牡蠣の付着生物学習に取り組んでいます。



## 20 一般社団法人いえしま自然体験協会



兵庫県立いえしま自然体験センターの管理運営を行い、海辺の自然体験活動を通して、子ども達や青少年達が、明日の社会の担い手として心身ともに健やかに成長することを目的としています。



## 21 株式会社カネカ



株式会社カネカは、総合化学メーカーとして環境・エネルギー、食糧、健康といった様々な社会課題にソリューションを提供することを目指しています。本フォーラムでは、カネカ生分解性バイオポリマーGreen Planet®をご紹介します。



## 22 玉一アクアリウム



玉一アクアリウムは、神戸市立玉津第一小学校の在校生と卒業生の約30名が在籍しています。明石川水系で週に1～2度水生生物のモニタリング調査を行い外来種の駆除と在来種の保護の活動を続けています。



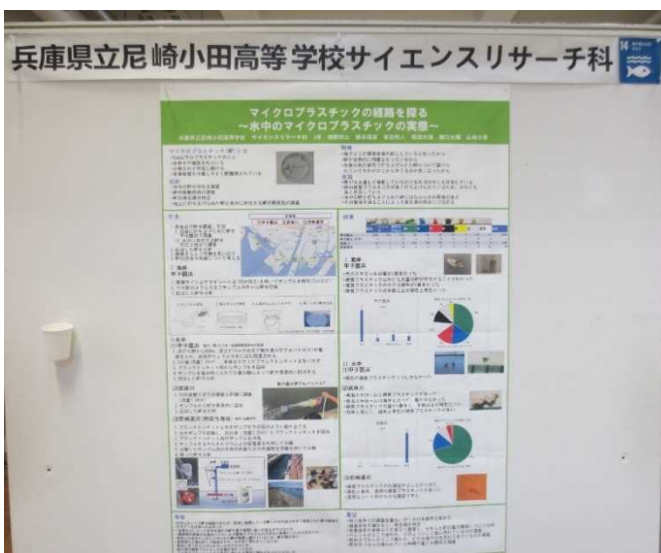
## 23 徳島大学&尼崎運河〇〇クラブ



尼崎運河の水環境改善を通し、地域社会を豊かにする活動を行っています。大学、住民、行政、企業が協働し、水質浄化技術の開発、栄養塩循環による植物栽培、生態系創出や運河SUPなどを行っています。



## 24 兵庫県立尼崎小田高等学校サイエンスリサーチ科



尼崎の海、特に尼崎運河を中心に、その環境再生と海の環境についての課題研究を行っています。また、本校主催で、今年度12回目になる瀬戸内海の地域課題解決に取り組む高校生サミットを開催しています。



## 25 兵庫県立豊岡総合高等学校 インターアクトクラブ



2010年、豊岡ロータリークラブの助言、支援を受け設立。被災地支援、清掃活動、地域交流、農業活動のほか、異世代・多文化や海外との交流も図る。こうのとりの、山陰海岸ジオパーク、カバンなど地域の特性と生かし独創的な活動を実践しています。



## 26 あびき湿原保存会



兵庫県天然記念物の指定を受けている「あびき湿原」(9000㎡)の保全と、湿原を使って加西市内11小学校の環境学習と小学生にも参加してもらい、湿原内の花の種を学校内で育苗してもらい、大きくなったものを湿原に戻す「里親」を実施しております。



## 27 NPO法人棚田LOVERS



美しい棚田を未来の子どもたちにつなぐためにお米を育てる体験、自然体験を実施。棚田で、自然を満喫し、石垣を積んだり、おいしい食事を食べてみませんか？





## 28 加古川の里山・ギフチョウ・ネット



絶滅危惧Ⅱ類選定のギフチョウを主として、豊かな自然環境が残る加古川市周辺での希少チョウ類の保全活動を目的に1999年5月に発足。



## 29 甲南女子大学 シグマソサエティ部



甲南女子大学シグマソサエティ部は、ボランティア活動に参加しています。植林活動やキャンプのお手伝いなどを行っています。毎年開催される大学祭では、バザーを出店しています。活動が制限されているコロナ禍ですが、今年度も自然と触れる活動に参加しました。



## 30 神戸大学保全生態学研究会



本団体は、神戸大学の学生を中心に活動しております。貴重な自然を次世代に残していくために、ボランティアや行政と協力しながら生態学的な視点からの研究および活動を実施しています。



## 31 神戸山手女子高等学校(仮)カメラ部



2010年から近隣で淡水ガメ捕獲調査を、2011年から神戸市立相楽園にニホンイシガメを導入してその後の動向を調査する域外飼育、環境DNAの抽出実験を行っています。この活動を通して「生物多様性の維持」をアピールできればと考えています。



## 32 篠山環境みらいの会



丹波篠山市内の環境の保全に関する問題を調査・研究し、市民に啓発する活動をしています。毎月第3土曜日に里山整備をしています。



## 33 淳心学院生物部



姫路城のすぐ隣の淳心学院中学校・高等学校の生物部です。姫路市内の河川で生物の観察や採取、水生生物の飼育などを行っています。今年は海水の水槽を立ち上げました。毎年9月の文化祭の淳心祭での展示に力を入れています。



## 34 ダイハツ工業株式会社



ダイハツ工業は、環境に優しいクルマづくりだけでなく、自然を未来へ残すことに貢献したいと考え、地域の自然や生物多様性を守る活動を進めています。



## 35 西宮市立山口中学校モリアオガエル保存会



絶滅危惧種である「モリアオガエルの保護増殖活動」を理科部より受け継ぎ、今年で54年目の活動をしています。地域の自然を守り、豊かな森を継承していくため、調査・啓発活動など様々な活動を行っています。



## 36 兵庫県立篠山東雲高等学校 自然科学部



学校のある丹波篠山市は、自然が豊かで多くの生き物がすんでいます。そこで私たちは、外来生物の駆除活動や生き物観察会などを通じて多くの人に地域の自然環境のことを知っていただく活動をしています。



## 37 兵庫県立森林大学校



2017年4月、森林林業の担い手を養成する専修学校として宍粟市に開校しました。定員40名の学生が、森林の整備と保全や林業の技術、森林セラピーや野生鳥獣被害対策などの専門知識を2年間で幅広く学びます。



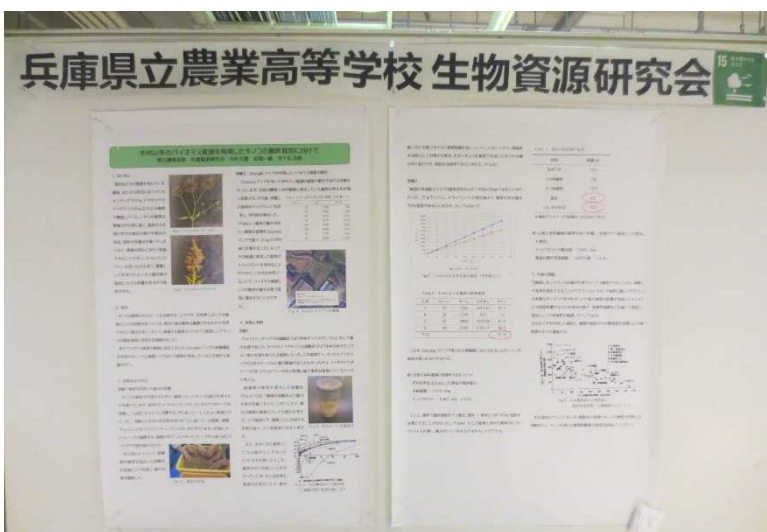
## 38 兵庫県立龍野口頭学校 自然科学部／課題研究生物多様性班



課題研究生物多様性班や自然科学部が中心となり、「生物多様性龍高プラン」を実施しています。地域の生物多様性の保全だけでなく、子どもたちに自然や生きものに興味関心を育むために科学イベントに出展しています。



## 39 兵庫県立農業高等学校 生物資源研究会



研究会ではおがくずを利用してキノコ栽培を行っていますが、雑草を利用してキノコ栽培が可能となれば大木のバイオマス資源を有効利用することができます。雑草や外来種の問題を解決するのではと期待しています。



## 40 兵庫県立北条高等学校 人間創造コースECOチャレンジ班



研究会ではおがくずを利用してキノコ栽培を行っています。雑草を利用してキノコ栽培が可能となれば大木のバイオマス資源を有効利用することができます。雑草や外来種の問題を解決するのではと期待しています。



## 41 武庫川づくりと流域連携を進める会



兵庫県武庫川流域委員会を前身に行政と住民のパートナー・中間支援組織団体として、温暖化を背景に健全な水循環が巡る安寧の流域圏をめざし行政・専門家・住民の三位一体で住民主導の武庫川づくりを展開しています。



## 42 Re.colab KOBE



リコラボは、人と自然がもう一度コラボするという意味を持ち、学生を主体とした次世代を担う若者が身近な環境問題や社会課題に主体的に取り組み、その成果を様々なチャンネルを使って発信しています。



## 5 グループディスカッション

### (1) 概要

“ひょうごの里山里海を守り育てるために”自分たちに何ができるのかを、嶽山洋志コーディネーターの進行のもと、参加者全員が20班に分かれ話し合った。

○テーマ： 楽しく脱炭素社会 ～自分達ができることを考えよう～

○コーディネーター等

コーディネーター：嶽山 洋志(兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 准教授)

テーブルファシリテーター：以下20名

1班	さとう たかやす 佐藤 貴康 / 教育委員会事務局 義務教育課 指導主事
2班	ささはら しんご 笹原 新吾 / 教育委員会事務局 教職員人事課 指導主事
3班	ながの ゆういちろう 永野 祐一郎 / 教育委員会事務局 高校教育課 指導主事
4班	いなや ふくこ 稲家 福子 / 教育委員会事務局 社会教育課 指導主事
5班	あずま ともこ 東 朋子 / NPO法人コミュニティ事業支援ネット 理事長
6班	いまい ひろこ 今井ひろこ / NPO法人たじま海の学校 副代表
7班	わたなべ まり 渡辺 真理 / NPO法人あまがさき環境オープンカレッジ 副理事長
8班	にしたに ひろし 西谷 寛 / 海と空の約束プロジェクト 代表
9班	みつなり あさみ 光成 麻美 / 兵庫県立淡路景観園芸学校 インストラクター
10班	おおと しんや 大本 晋也 / 南あわじ市教育委員会事務局 学校教育課 支援担当
11班	みずの これきよ 水野 是清 / 兵庫県立南但馬自然学校 主任指導主事
12班	はしもと よしのぶ 橋本 佳延 / 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員
13班	おおひら かずひろ 大平 和弘 / 兵庫県立人と自然の博物館 研究員・兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 講師
14班	ふじわら よしみつ 藤原 良光 / 兵庫県立生野高等学校長
15班	あんどう やすたか 安東 靖貴 / 兵庫県立高砂南高等学校長
16班	すが のりあき 菅 範昭 / 兵庫県環境部長
17班	たかせ ゆうこ 高瀬 優子 / 兵庫県環境部環境政策課 会計年度職員
18班	あらかい かずひと 荒木 和仁 / 兵庫県教育委員会 播磨東教育事務所長
19班	つちだ しょうじ 土田 章二 / 兵庫県競馬組合 総務課長
20班	やまと まきみ 大和 牧美 / 認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 まちづくりスポット神戸

(2) ディスカッション結果

○各班のまとめ用紙

<p><b>【1班】</b></p> <p>1 班</p> <p>&lt;脱炭素社会の課題&gt; ③で検討した、「脱炭素社会の課題」について、班でまとめた内容を1つ以上記入してください。</p> <p>ムダが多くて資源を使いすぎている</p> <p>&lt;課題への対応&gt; 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。</p> <p>“脱炭素社会”のために、私たちは</p> <p>知ることが大切なため 自分たちの 体験会を広める 活動</p> <p>をします!!</p>	<p><b>【2班】</b></p> <p>2 班</p> <p>&lt;脱炭素社会の課題&gt; ③で検討した、「脱炭素社会の課題」について、班でまとめた内容を1つ以上記入してください。</p> <p>1人1人が電力(エネルギー)を使いすぎている。</p> <p>&lt;課題への対応&gt; 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。</p> <p>“脱炭素社会”のために、私たちは</p> <p>新技術に頼らず、誰でも自発的に行動することを SNSで発信すること</p> <p>をします!!</p>
<p><b>【3班】</b></p> <p>3 班</p> <p>&lt;脱炭素社会の課題&gt; ③で検討した、「脱炭素社会の課題」について、班でまとめた内容を1つ以上記入してください。</p> <p>ゴミが増加している。 関心がない。</p> <p>&lt;課題への対応&gt; 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。</p> <p>“脱炭素社会”のために、私たちは</p> <p>無駄なものは買わない</p> <p>をします!!</p>	<p><b>【4班】</b></p> <p>4 班</p> <p>&lt;脱炭素社会の課題&gt; ③で検討した、「脱炭素社会の課題」について、班でまとめた内容を1つ以上記入してください。</p> <p>認知度が低いこと。 みんなですべてできる解決策を考えること。</p> <p>&lt;課題への対応&gt; 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。</p> <p>“脱炭素社会”のために、私たちは</p> <p>・マイ〇〇を当たり前にする!! ・ビルの屋上に木を植える!! ・小中学生に〇×クイズ などを出してみます!!</p> <p>をします!!</p>
<p><b>【5班】</b></p> <p>5 班</p> <p>&lt;脱炭素社会の課題&gt; ③で検討した、「脱炭素社会の課題」について、班でまとめた内容を1つ以上記入してください。</p> <p>生活に不便さを感じないままで エネルギー源を含め、様々な物や事を 移向できるか</p> <p>&lt;課題への対応&gt; 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。</p> <p>“脱炭素社会”のために、私たちは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズ作成</li> <li>・家庭菜園 &amp; グリーンカーテン</li> <li>・冬に運動</li> </ul> <p>をします!!</p>	<p><b>【6班】</b></p> <p>6 班</p> <p>&lt;脱炭素社会の課題&gt; ③で検討した、「脱炭素社会の課題」について、班でまとめた内容を1つ以上記入してください。</p> <p>「脱炭素」を知りきっかけがなくて 関心薄</p> <p>&lt;課題への対応&gt; 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。</p> <p>“脱炭素社会”のために、私たちは</p> <p>会社「がみん大会」やる。 フォーラム 達成率のIPoint付与 → 不材商品も体験 をします!!</p> <p>がみん大会 暗きみ協会 耐震性低い の部品の取</p>

# 【7班】

7 班

<脱炭素社会の課題>  
 すで検討した、「脱炭素社会の課題」について、再度まとめた内容を1つ以上記入してください。

- ・ゴミ問題
- ・意識・知識・理解
- ・エネルギー問題

<課題への対応>  
 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは  
 危機感を伝えると楽しさを伝える  
 生活スタイルを見直す

をします!!

# 【8班】

8 班

<脱炭素社会の課題>  
 すで検討した、「脱炭素社会の課題」について、再度まとめた内容を1つ以上記入してください。

何をすべきか具体的に分からないこと

<課題への対応>  
 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは  
 買い物をするときに賞味期限が短い物を選ぶことなど  
 素材や表示を見て生活し、物や資源を大切に  
 ごみを減らします!!

# 【9班】

9 班

<脱炭素社会の課題>  
 すで検討した、「脱炭素社会の課題」について、再度まとめた内容を1つ以上記入してください。

⑤ 加量にせよ

- ・一人の行動を促す
- ・情報発信不足

<課題への対応>  
 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは  
 ・若いだけでなく若者だけでなく  
 ・毎日の生活からできること  
 ・身近な仲間と一緒  
 ・身近な仲間と一緒  
 ・身近な仲間と一緒

をします!!

# 【10班】

10 班

<脱炭素社会の課題>  
 すで検討した、「脱炭素社会の課題」について、再度まとめた内容を1つ以上記入してください。

カーボンニュートラルと脱炭素社会の両立  
 の実現 “ものづくり”は必要です!!

<課題への対応>  
 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは  
 課題を共有して協力して  
 問題解決を図ります

をします!!

10 班

<脱炭素社会の課題>  
 すで検討した、「脱炭素社会の課題」について、再度まとめた内容を1つ以上記入してください。

PR不足

<課題への対応>  
 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは  
 PRなどを通じて、言葉だけでなく  
 脱炭素を身近なものとして理解して

をします!!

# 【11班】

11 班

<脱炭素社会の課題>  
 すで検討した、「脱炭素社会の課題」について、再度まとめた内容を1つ以上記入してください。

課題をまとめるのは大変ですが、個人の問題ではなく、社会全体の課題として取り組む必要があります。

<課題への対応>  
 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは  
 身近な仲間と一緒  
 身近な仲間と一緒  
 身近な仲間と一緒

をします!!

# 【12班】

12 班

<脱炭素社会の課題>  
 すで検討した、「脱炭素社会の課題」について、再度まとめた内容を1つ以上記入してください。

がまんしないと脱炭素できないという  
 常識を疑う。

<課題への対応>  
 「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは  
 脱炭素にできる好きなことに一緒に取り組んでくれる  
 仲間を増やそう!!

をします!!



# 【13班】

13 班

<脱炭素社会の課題>  
②で検討した、「脱炭素社会の課題」について、概でまとめた内容を1つ以上記入してください。

1.暮らし方の課題 (例) 24時間営業  
2.経済活動の課題 (例) エネルギー価格、国土開発、都市計画  
3.普及活動の課題 (例) エネアドバイザー

<課題への対応>  
「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは

1->新しいライフスタイル発信 (決)

2->自分たちから社会を改革する (決)

3->活動者を集める、つながる (決)

をします!!

# 【14班】

14 班

<脱炭素社会の課題>  
②で検討した、「脱炭素社会の課題」について、概でまとめた内容を1つ以上記入してください。

意識改革

- J-1の分別
- 再生可能エネルギー
- 地産地消, 交通

<課題への対応>  
「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは

意識改革を次の世代に継いでいく、それを手助けする。  
作っていく

をします!!

# 【15班】

15 班

<脱炭素社会の課題>  
②で検討した、「脱炭素社会の課題」について、概でまとめた内容を1つ以上記入してください。

① 若い人への関心  
② 若い人への参加  
③ 若い人への体験

若い人に関心を持つには若い人の力が重要

<課題への対応>  
「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは 参加した人が何かを得よう

関心がない人を集めるために、若い人が集まる場所づくり  
体験できる活動をする、&仲間を増やす

をします!!

# 【16班】

16 班

<脱炭素社会の課題>  
②で検討した、「脱炭素社会の課題」について、概でまとめた内容を1つ以上記入してください。

発電が化石燃料

<課題への対応>  
「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは

節電地域戦

をします!!

# 【17班】

17 班

<脱炭素社会の課題>  
②で検討した、「脱炭素社会の課題」について、概でまとめた内容を1つ以上記入してください。

脱炭素社会について、また現状 事実について

「知らない」こと

<課題への対応>  
「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは

子どもたちから大人たちへの楽しい発信の場  
(体験・フーズ・実食)づくり

をします!!

# 【18班】

18 班

<脱炭素社会の課題>  
②で検討した、「脱炭素社会の課題」について、概でまとめた内容を1つ以上記入してください。

自分たちができる取り組みを知らない

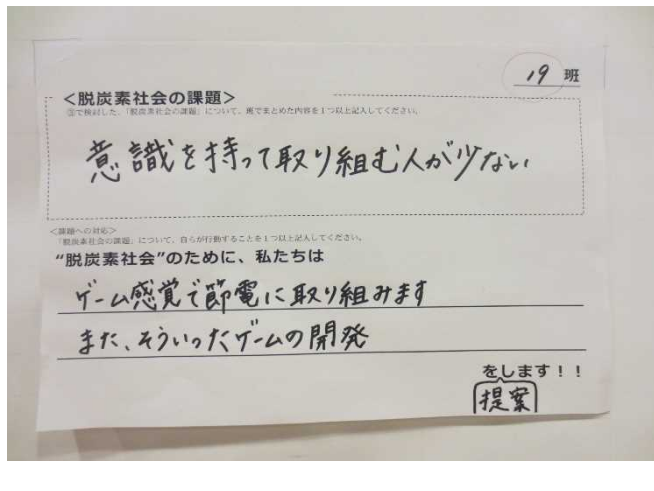
<課題への対応>  
「脱炭素社会の課題」について、自らが行動することを1つ以上記入してください。

“脱炭素社会”のために、私たちは

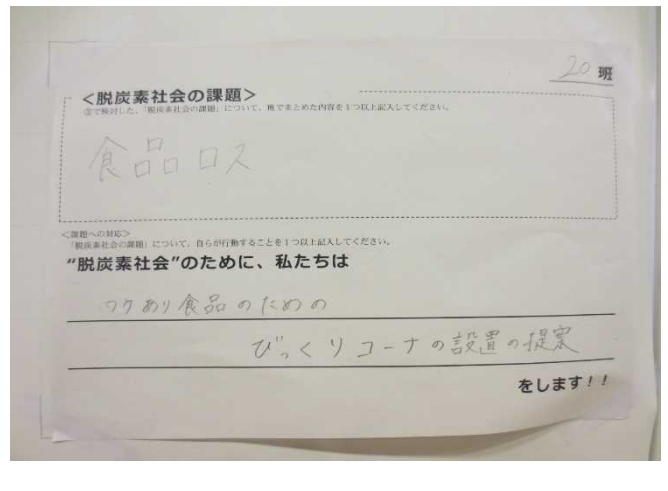
自分たちができる取り組みを笑って、  
参加をすすめる

をします!!

## 【19班】



## 【20班】



### ○ 代表10班による発表

#### 1班

無駄が多すぎて資源を使いすぎていることが課題と考えた。脱炭素社会のために私達は知ることが大切だ。楽しく脱炭素社会ということでクイズ形式により「知る」に繋がる活動をする決めた。

#### 3班

一人一人に関心がないことが課題と考えた。脱炭素社会の実現のため、「無駄な物を買わないことが大切」だ。何か物を買う前には一度立ち止まって考えることが必要だと考える。

#### 5班

生活に不便さを感じないまま、エネルギー源を含め、脱炭素社会のために様々な物事を移行するため、3点行なう事考えた。1つ目は「クイズ作成」により楽しく脱炭素を知る、2つ目は「家庭菜園、グリーンカーテンをゴーヤで作ること」により食物にもなる。3つ目は「冬に運動をする」ことによって暖房も使用せずダイエットにもつながると考えた。

#### 6班

脱炭素を知るきっかけがなく、それがゆえに関心が薄いことが問題だと考えた。そのため「我慢大会」を実施して関心を得る方法を考えた。チャレンジを達成したらポイントが付与され貯めたポイントで環境にやさしい商品などと交換できるようにすることを考えた。



## 8班

課題は何をすべきかが具体的にわからない事だと考えた。自己紹介の時にそもそも脱炭素社会ってなんだろうという疑問がわいたため、これを課題点とした。何ができるか考えた時に、買い物をする時「賞味期限が短いものから選ぶ」「素材や表示を見て生活する」「物や資源を大切にし、ゴミを減らす事に心がけて生活する」この3点を実行すると決めた。

## 11班

脱炭素社会が抱える問題を個人と社会に分けて考えた。個人では「電気」、社会では「環境」に関する問題が多く出た。そのことを知ってもらうために情報発信を工夫する必要がある。情報発信としてスーパーマーケットなど身近な場所で積極的な広報をする。例えば「ゆるキャラ」などを利用すれば親しみやすく知ってもらいやすいと考えた。

## 14班

課題を「地産地消できる理想の交通手段」「再生可能エネルギー」「ゴミの分別」の3つに絞り考えた。「全て二酸化炭素を増やす行動に繋がってしまうのではないか」と考えるように意識改革をしようと考えた。そのためには再生可能エネルギーについて専門科を作って学校で若い世代に学ばせることが大切と考えた。

## 15班

国の明確なビジョンが必要ではないかと考える。また脱炭素社会に興味のない人をどう引き込むかが課題と考えた。未来のために若者同士で仲間をつくりイベントを開催したり、消費者に利益が得られるような活動が必要なのではと考えた。

## 16班

発電を化石燃料に頼っていることが問題だと考えた。そこで発電地域戦を考えた。個人だと大変で楽しくないが、地域で行なうと楽しく、自分の地域でがんばろうという気持ちになる。自分が参加している発電の大会だとがんばるのではと考えた。

## 18班

自分達ができる取組を知らないので、「自分たちでできる取組を知り、参加していく」ということに決めた。

## 19班

意識をもって取り組む人が少ない事が課題と考えた。自分の取組を理由化することによって電気代を減らす意識につながるのではないかと考えた。節電すればポイントが付与されるなど、友達と取り組めば身近に感じるのではと考えた。



(3) 講評 総合コーディネーター 中瀬勲(兵庫県人と自然の博物館 館長/兵庫県立淡路学園高等学校 学長)

さまざまな年齢や職業を交えたグループディスカッションで出た具体的な意見から感じたことは、脱炭素社会への理解が行き届いていないことだ。

日本は戦後復興の高度成長でエネルギーを使用する社会となった。かつては省エネ、CO<sub>2</sub> を排出しない生活をしてきたが、もう、その頃には戻れない。

では、どのようなライフスタイルにしていくかが非常に重要である。「消費期限の問題」や「無駄な物を購入しない」という意見も出た。

まさにその通りで、スーパーに行くとき消費期限の長い物を選びがちである。意識を変える必要があり、また、そういう意識を持った人を育てる人材育成が必要である。



意識を持った人がたくさん増えることで環境に対して良い活動が出来るのではないかと思います。また、歩くという意見もでた。歩く、自転車で移動することが増えると、車や飛行機、列車などから排出されるCO<sub>2</sub>は減少するだろう。しかし日本は歩道や自転車のための整備(サイクリングロード)が進んでいないとの意見もあった。河川敷や田んぼの「あぜ道を歩く」「自転車に乗る」といった、そういう世界を作ることがCO<sub>2</sub>削減に大事な事だ。私は一万歩歩く事を目標としている。野山を歩くことにより健康にも繋がる。歩く事はCO<sub>2</sub>削減だけではなく、楽しみにも繋がる。健康などと複合的に考えながら、楽しく環境にいい活動につながっていけばと、今後の皆さんの活動に期待している。

## 7 クロージング

あいさつ(菅 範昭 兵庫県環境部長)



環境問題は大きく3つある。

まず1つ目に気候変動(地球温暖化)、2つ目に資源循環(廃棄物の関係)、3つ目は自然共生(生物多様性)である。

この問題は国際的な地球規模の課題と言われているが、地域の問題でもある。

この3つの解決策はLocal(地域)から生まれてくるのではないかと。本日は様々な地域、分野の皆さんに議論いただき様々なアイデアが出たのではないかと考えている。

最後に、この場を借りてこのフォーラムにご協力頂いた、学生企画委員の皆さんに感謝申し上げます。

また、総合コーディネーターの中瀬館長、グループディスカッションコーディネーターの嶽山先生、ありがとうございました。

### Ⅲ 学生企画委員の紹介

#### 1 学生企画委員一覧

第4回ひょうごユースecoフォーラムに企画段階から参画し、若い力でフォーラムを盛り上げてくれた10名の学生企画委員を紹介します。コロナ禍の中、オンライン会議等を通して様々なアイデアを出してくれた学生たちの真摯かつ積極的な取り組みがなければフォーラムの成功はありませんでした。学生企画委員の皆さんにこの場を借りてお礼申し上げます。



池山 結菜	武庫川女子大学	【役割】 口頭発表担当
金丸 実李	県立津名高等学校	【役割】 ポスターセッション担当
谷後 七菜花	関西学院大学	【役割】 総合司会担当
貞平 萌々奈	武庫川女子大学	【役割】 口頭発表担当
藤本 うらら	武庫川女子大学	【役割】 口頭発表担当
藤原 夕紀	関西国際大学	【役割】 裏方担当
増本 結月	武庫川女子大学	【役割】 口頭発表担当
松浦 憲	関西学院大学	【役割】 口頭発表(総括)担当
山内 瑞礼	関西学院大学	【役割】 総合司会担当
渡瀬 泰輝	関西国際大学	【役割】 ポスターセッション担当

## 2 学生企画委員感想

企画委員として参加させていただき、ありがとうございました。

当日まで脱炭素社会について、この機会でないとお話できないような方々とお話ができて、とても貴重な体験になったと同時に、たくさんの学びを得ることができました。また、司会をやらせていただき、全体に話すときに気をつけるべき点や綺麗な流れで進めていくことなど、大勢の前で話すときの工夫なども学ぶことができました。緊張はしましたが、楽しく口頭発表の司会をすることができました。

さらに実際にユースecoフォーラムに参加してみて、さまざまな職業の方とお話しさせていただいたり、それぞれの脱炭素社会に向けた取り組みを知ることができたりして、今までより視野が広がったように感じます。実際に参加をしてみるまでは脱炭素についてここまで身近に考えたことがなかったので、ユースecoフォーラムを通して普段の生活を見直すきっかけになりました。

改めて、企画委員として参加できてよかったです。ありがとうございました。

武庫川女子大学  
池山 結菜

私は1月14日に開催されたユースecoフォーラムに学生企画として参加しました。フォーラムの開催に向けた会議では、大学生の企画委員の方から出た意見は自分では思いつかないようなものばかりで、とても参考になりました。

当日は小学生から社会人まで年代を問わず交流していることに感銘を受け、自分自身の環境問題へ関心もさらに深まりました。またグループディスカッションにも参加しました。

話し合い深める中で、意外と日常生活の中でもできることが多くあり、自分の身の回りのことについて考え直す良い機会になりました。

今後は自分にできることをしっかり考え、積極的に行動にうつしていきたいと思います。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

県立津名高等学校  
金丸 実

この度は、学生企画委員という貴重な体験をさせていただき、誠にありがとうございました。私は今までこれほどまでに大きな規模の取り組みに裏方として参加したことがなかったため、企画委員全員で少しずつ準備をしてきたことのすべてが価値ある時間でした。

とくに、当日のポスター展示等で導入されていた意見用の付箋を見て、「私達の提案が採用されている！」と、自分達が作り上げてきた実感が湧きました。

グループディスカッションでは、幅広い年齢層の方々との意見を交換することによって、自身の視野が広がりました。私の中で強く印象に残っているのは、サイクリングを趣味にしている高校生の「漕ぎながらスマホを充電できる自転車がほしい。」という意見です。

自分の趣味や日常生活から課題を見つけ、脱炭素社会に繋げている様子が素晴らしく、これが現代の学校教育で求められている「生きる力」なのだろうと思いました。

ここでの経験を自分の将来へと繋げられるよう、今後も継続的に学びを深めていきます。

武庫川女子大学

貞平 萌々奈

---

今回、ひょうごユースecoフォーラムに参加して、自分の意識の低さに気付かされました。ただ情報を得て終わりではなく、実際にアクションを起こしている方たちばかりでとても刺激的でした。

学生企画委員として今回携わる事が出来て本当に感謝しています。SDGsというワードを聞くことが増えたものの、実際に日常生活でアクションを起こすことはほとんど出来ていませんでした。しかし、小学生でも自分の言葉で説明出来るほどにSDGsに取り組んでいる姿を見て、より意識が高まりました。また、学生企画委員のみんなとのディスカッションもとても楽しく、自分には無い考えに触れる良い機会になりました。

今回のことをきっかけに、団体活動にも参加してみようと思います。是非来年も参加したいです！

関西学院大学

谷後 七菜花

学生企画委員という貴重な体験を通して、環境に対して更に興味を持つようになりました。ecoフォーラムに参加された団体の方々は様々な角度や方向から環境に対するアプローチをなさっていて、環境と深く関わっていかうという姿勢が沢山見られると共に他の団体の活動にも興味を持つ方々が多いなどとても良い姿を拝見することができました。ecoフォーラムに参加する前は、環境に対しての知識はとても浅かったのですが、学生企画委員として、口頭発表の司会として環境に対しての知識を深めようと言うきっかけで環境について知る機会となりましたが、まだまだ環境の取り組みや脱炭素社会について理解や認知が低いのが現実ですし、私自身もそうでした。今後は、環境について興味を持つ者としてどのように伝えて行くのかまた、持続可能な社会にするためにどのように私達の世代更には次世代に伝えて行くのかを探求し広めて行きたいと思いました。

武庫川女子大学  
藤本 うらら

私はひょうごユースecoフォーラムの活動を通して、今までにない経験を沢山させていただきました。学生企画委員として参加するオンラインでの会議中、自分の想像を上回る面白いアイデアであったり、こんなこともできるのか、と驚くような意見がたくさん出てきました。学生企画委員の方々の素晴らしい考えやアイデアなどから刺激を受けました。他には、イベントが出来ていく過程を間近で見ることができ、たくさんの人の頑張りが最後、イベントを終えた後の達成感に繋がるという学びを得ました。私が住む兵庫の環境についてしっかりと考える機会となり、私自身の成長が出来る時間となりました。今回初めてこのような大きなイベントに学生企画委員という形で参加しました。大人の方のサポートがあったからこそ無事やり切ることが出来たと思います。ありがとうございました。今後の活動に活かしたいです。

最後にこの活動を通して学生が意思を持つことの大切さを学びました。子どもに主体性を持たせる、というよりも好奇心を育むような、そんな大人になりたいと思います。

関西国際大学  
藤原 夕紀



初め企画委員をすることになり、新しいことに挑戦できる機会をいただけて頑張ろうという気持ちでした。質疑応答の司会をすることに決まった時は、自分達からやりたいと言ったものの、今まで挑戦したことがなかったので不安でいっぱいでしたが、企画委員の皆さんの力もあり一緒にやり切ることができました。今まで、企画を運営する立場になることはなかなか無かったので、貴重な経験となりました。グループディスカッションでは、普段関わることのできない企業の方々や世代の方々から話を聞けたり、自分の話をしたりと様々な考え方を共有することができました。「脱炭素」というお題でしたが、自分の身近なところだけではなく幅広く問題として取り上げられていることや、他の環境問題や各団体それぞれが改善策を考えられていることから、環境について改めて考え、それを教員を目指している私が子供たちに伝えていくべきだと改めて思われる機会となりました。

緊張はしましたが、楽しみながら参加・運営できる時間となりました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

武庫川女子大学

増本 結月

幼稚園から大学、民間企業のみならず研究機関まで様々な人々に参加して頂き、充実した大会となりました。口頭発表にご登壇頂けなかった団体様の中にも、数多くの素晴らしい研究や実践があり、多くの学びを得た一日でした。環境問題を考えるとき、皆さんには「環境はどこか遠いところにあるものではなく、身近なものであり『自分事である』」ということを中心に留め置いて欲しいと思います。動物行動学者であるジェーン＝グドールさんは次のように言います。

「皆さん一人一人に果たすべき役割があり、それを通じて変化をもたらすことができます。あなたは一人という小さな存在に過ぎませんが、あなたのすることは全世界に影響を与えます。あなたには選択肢があります。何をかうか、何を食べるか、何を着るか。あなたの変化は小さなものかもしれませんが、1000人、100万人、そして10億人の人々がその変化を起こせば、大きな変化をもたらすでしょう。」

参加者の皆様には、活動を広めて社会に「変化」をもたらして頂きたいと思います。皆さんの更なるご活躍をお祈り申し上げます。

関西学院大学

松浦 憲

今回の「ひょうごユースecoフォーラム」に参加させて頂き、様々な世代の方と環境課題について話し合えたことが印象に残っています。

グループディスカッションでは、自分には無かった考え方や、豊富な経験からの視点を知ることができ、とても勉強になりました。ポスター展示では、来場者の方が盛んに交流されていて、私も活動されている方々から取り組みについて聞かせて頂き、沢山の人が環境課題に真剣に向き合っていることを実感しました。

学生企画委員として活動開始当初は不安もありましたが、同じ委員の方たちや兵庫県職員の方々、コーディネーターの嶽山先生など、沢山の皆様のおかげで無事にやりきることが出来ました。学生企画委員をやらせて頂いたからこそ得られたものが多くあります。この貴重な経験を活かして、環境問題解決に少しでも力になれるよう、自分にできることを考え続けていこうと思います。

関西学院大学  
山内 瑞礼

前年度までの取り組みに感心しながら始まった今回のフォーラムでした。大学内やその近辺で環境について考えるような取り組みは今までも行ってきましたが、このように兵庫県内様々な地域で活動している方々と交流することができたことは非常に面白い時間でした。小学生からご高齢の方々まで年齢問わず、さまざまな取り組みを行っており、今まで詳しく知ることのなかった活動についての知識を深めることができました。グループセッションにおいては活発な意見交流を行うことができ、問題に対してもそれぞれの立場からみた課題点や解決法を共有することでさらに深いところまで検討することができ、有意義な時間を過ごすことができました。反省点としては2点。学生企画委員のお話をいただきすぐに二つ返事でやらせていただきましたが、思うように動けないことが多く連絡を返すのも遅くなることもあり、ご迷惑をおかけすることになりました。もう一年早くこの存在に気がついていればもう少し動きやすかったのかと思います。もう一点は当日のアナウンスに関してです。参加が把握している情報を理解できていなかったため指示が不足することがありました。状況把握についてもう少し確認しておけば良かったかと思います。次回以降の改善点にしていただければ幸いです。

関西国際大学  
渡瀬 泰輝



第4回 ひょうごユースecoフォーラム 開催報告書  
 楽しく脱炭素社会 ～自分達ができることを考えよう～

編集発行

兵庫県 環境部 環境政策課 政策班(学習・活動支援担当)

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1 電話: 078-362-3156

電子メール: kankyouseisakuka@pref.hyogo.lg.jp